

KBC杯高校ハンド

ハンドボールの第9回KBC学園杯争奪第43回県高校春季選手権大会の最終日は17日、ANA AREENA浦添で行い、女子決

浦添 女子 那覇西 男子

勝は浦添が28-20で浦添商を下し、優勝した。男子決勝は那覇西が24-16で知念に勝利し、栄冠をつかんだ。3位決定戦も行い、男子は浦添が浦添工に7対5スコアコンテストで競り勝ち、女子は南風原が陽明を振り切った。

昨年12月の琉球新報旗争奪準決勝と同じ顔合わせとなった女子決勝。浦添が堅守速攻で前半から連続得点を、28-20で浦添商業を退け、前回の借りを返した。

ハイライト

「本当にうれしい。仲間を信じ、コミュニケーションが取れていた」。チームがトマで持って行くも、相手が浦添へ傾いた。「あれが振り払いつかんだ頂点に、でも無得点だった。苦しい監督やチームメイトが認めるフライングだった。その直後、上原まひろのチーム初得点を皮切りに3連続得点を逆転し、その後も次々と得点。守備では低めの横一線で相手にコースを限定させてミドルやロングを打たせて松岡がしっかりと止め、リードを広げていった。

浦添、堅守速攻で雪辱



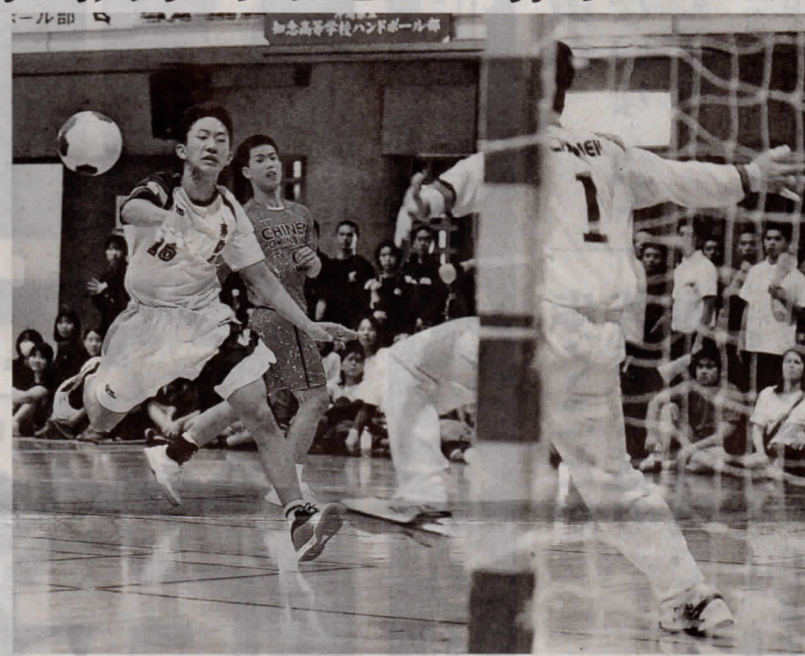
浦添は浦添商を下し、優勝した。男子決勝は那覇西が24-16で知念に勝利し、栄冠をつかんだ。3位決定戦も行い、男子は浦添が浦添工に7対5スコアコンテストで競り勝ち、女子は南風原が陽明を振り切った。

浦添は浦添商を下し、優勝した。男子決勝は那覇西が24-16で知念に勝利し、栄冠をつかんだ。3位決定戦も行い、男子は浦添が浦添工に7対5スコアコンテストで競り勝ち、女子は南風原が陽明を振り切った。

那覇西 光る個の力

男子決勝は那覇西が、練習で取り組む個々の力を発揮し24-16で知念を下して優勝した。県内王者の興南が全国選抜大会出場を控え

不在の興南打倒誓う



男子決勝 決勝でチーム最多の6得点を挙げた那覇西の金城広毅

浦添	28	1315	137	20	浦添商
南風原	20	1010	66	12	陽明
那覇西	24	816	97	16	知念
浦添	29	延1210	31	13	長1111
					28
					浦添工



おそろいのポーズを取り、優勝を喜ぶ男子の那覇西

は抜けて運動能力が高い。興南監督、GK・島袋翔が何度も好セーブした。攻撃はエース・本永皇太郎を中心に全員がゴールに向かう姿勢を見せた。中でもセンターが本職の金城広毅が左サイドでもプレーし、チーム最多の6得点と大暴れた。一方後半は、相手の高めの守備への変更に対応できなかった。興南監督は「試合を通して徹底するスタミナがない」と反省する。金城は「練習の質を高めて興南との差を埋めたい」と興南との差を埋めたいと男女同時の全国舞台へ気合を入れ直した。

不在だったこともあり、興の能力アップを練習のテーマに置く。決勝も「1対1感覚がない。チームも技術も途中なので満足せず、興南にどう勝つか考えたい」と喜びよりも、新たな課題を見つけた様子だった。打倒・興南へ向け、個人たせない。打たれても「ず